

# 都市 + 寺 = 涼

一寺が都市を涼しくする一



## SITE

大阪市天王寺区に上町台地と呼ばれる場所がある。台地の西端の坂道には、江戸時代初期の政策によって集められた寺院が立ち並び、「寺町」として独特の景観を持ち、都市の中心部にありながらも、風情のある落ち着いた空間として、人々に安らぎを与えている。緑も多く、高温化する都市の中のクールスポットと言えるだろう。

今回の対象地は、このような寺町に隣接する場所である。しかし寺町とは幹線道路で分断されており、コンクリートとアスファルトで覆われた放熱空間は寺町らしさを一切感じさせない。人々が忙しく横断する。



## PROGRAM

草木にあふれ、物理的・精神的に涼しい場所として『寺』があげられる。寺には樹木、庭園、川、手洗い場等のヒートアイランド対策となる要素が多く存在する。

そういったヒートアイランド対策に有効である『寺』というレイヤーを、ビルが林立し、温熱環境の悪い対象地のレイヤーに重ね合わせる。

対象地のレイヤーに寺のレイヤーの要素がポツポツと出現する。

その結果、温熱環境は改善され、寺という隣接する地域の特色を吸収することで、まちは活気を取り戻し始める。

